

研究機関：広島大学

研究課題名	頭蓋内出血の頭部 CT における AI 解析を用いた診断脳評価
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 教授 粟井 和夫
研究期間	2022年3月16日（倫理委員会承認後）～ 2026年3月31日
対象者	<p>2018年1月1日から2021年12月31日の間に、広島大学病院で頭部 CT を撮影した患者さん。そのうち脳出血例50例、正常例50例を対象とします。</p>
意義・目的	<p>頭部 CT は頭の中の（頭蓋内）出血が疑われる方に最も行われる検査です。近年人工知能（Artificial intelligence: AI）で CT 画像上の病変を抽出するという技術が開発されていますが、頭蓋内出血においてその診断能についてはまだ解明されていません。今回、LPIXEL 社の開発した頭蓋内出血を抽出するソフトウェアを用いて、どのくらい小さな出血を同定できるのかを明らかにするためにこの研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、頭部 CT 画像、MRI 画像、診療情報（年齢、性別、出血原因、臨床診断）を調査して行います。医師が普通に画像を見た場合と AI を用いて見た場合で頭の中の出血診断をどの程度早く正確に診断できるかを比べて、AI が有用か否かを検討します。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学医系科学研究科放射線診断学 教授 粟井和夫
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T.e l : 082-257-5257 広島大学病院放射線診断科 職名 助教 三谷 英範</p>